

企画展

「歴史と文化を救う」 阪神淡路大震災から15年を迎えた今、これまで展開されてきた被災文化財の救出活動を検証し、今後の展望を考える機会にしたいと考えます。

会期 9月28日(火) まで
会場 本館展示場内

「伝統の布の『いま』—東南アジアのふだん着にみる実情—」

東南アジアの国々で収集した「四角い布」や「筒型の布」などのふだん着を展示し、グローバル化が進展するなかで変貌をとげつつある伝統の布の実情を紹介いたします。

会期 9月14日(火) まで
会場 本館展示場内

※研究者によるキャリートークをおこないます。
実施日 ①8月3日(火) ②8月24日(火)
時間 14時30分～15時30分
※また、本企画展では、試着コーナーを併設しています。試着可能な日はホームページでご確認ください。

「音の力」 夏のみんぱくフォーラム2010

◆研究公演
「インドネシア・バタックのギターと歌」
実施日 8月13日(金)
時間 13時30分～15時
会場 1階エントランスホール
※参加無料 申込不要

◆研究公演
「揺さぶる力」 大阪浪速の太鼓打ち
実施日 8月28日(土)
時間 座談会 13時30分～14時(開場13時)
太鼓演奏 14時15分～16時
会場 講堂
定員 450名
※参加無料、要申込
(申し込み方法はホームページでご確認下さい)
申し込み締切り 8月12日(木) 必着

◆展示場クイズ
「みんなQ 音楽編」
期間 8月1日(日)～8月31日(火)
場所 音楽展示場
※要観覧料、申込不要
以上、夏のみんぱくフォーラム関連イベント
お問い合わせ
広報企画室企画連携係
電話 06・6878・8210
(平日9時～17時)

国際シンポジウム
「ディアスホラにみる文化の融合—民族衣装ファッション・カルチャーウェア」
日時 ①8月27日(金) 10時30分～17時45分
②8月28日(土) 10時30分～17時
会場 第4セミナー室
※参加無料、申込不要
※関連イベントとして解説つきのショー「カルチャーウェア—文化と心を身にまとう」を8月29日(日) 講堂にて開催。
お問い合わせ
中牧弘充研究室
電話 06・6878・8269

「ロウと藍染めでモヨウをつくる」
今回は、東南アジアなどで使われている溶かしたロウをつかって布に模様をつける方法を紹介します。
実施日 8月22日(日)
時間 ①11時～12時 ②13時～14時 ③15時30分～16時30分
会場 第3セミナー室
対象 小学1年生以上(小学生未満は保護者同伴で参加可)
参加費 500円
申し込み方法
当日会場前にて申し込み受付を致します(各回定員12名、先着順) 詳しくはホームページをご覧ください。
お問い合わせ
情報企画課展示グループ
電話 06・6878・8532
(平日9時～17時)

夏休みこともワークショップ
「ロウと藍染めでモヨウをつくる」
今回は、東南アジアなどで使われている溶かしたロウをつかって布に模様をつける方法を紹介します。
実施日 8月22日(日)
時間 ①11時～12時 ②13時～14時 ③15時30分～16時30分
会場 第3セミナー室
対象 小学1年生以上(小学生未満は保護者同伴で参加可)
参加費 500円
申し込み方法
当日会場前にて申し込み受付を致します(各回定員12名、先着順) 詳しくはホームページをご覧ください。
お問い合わせ
情報企画課展示グループ
電話 06・6878・8532
(平日9時～17時)

特別展

「彫刻家 エル・アナツイのアフリカ—アートと文化をめぐる旅—」

ガーナ生まれでナイジェリア在住のエル・アナツイは、現代アフリカを代表する彫刻家です。木の彫刻や廃品を使った織物の作品で知られています。本展では、アナツイの作品とその文化的な背景をなぞっていきます。



「ピーク」(錫鋼線 2010年 作家蔵)

会期 9月16日(木)～12月7日(火)
会場 特別展示室

みんなくセミナー

会場 国立民族学博物館講堂
時間 13時30分～15時(13時開場)
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料
※本館展示をご覧になる方は、観覧料が必要です。

第387回 8月21日(土)
「新音楽展示関連」
主張する太鼓
講師 寺田吉孝(民族文化研究部教授)



1960年代以降、社会的正義を要求する運動の一部として太鼓を演奏する例が増えてきました。日本(大阪)の被差別部落、アジア系アメリカ人、インドのタリット(不可触民)などを例として、このような運動における太鼓演奏の意味・位置づけについて報告します。

第388回 9月18日(土)

「特別展関連」
博物館と美術館の間

講師 川口幸也(文化資源研究センター准教授)



アフリカの現代美術は、博物館に展示されたり美術館に展示されたりしています。このような現象は、欧米や日本の現代美術には見られません。アフリカの現代美術が置かれていくこうした状況を、おける今日のアフリカの問題を考えてみます。

友の会

友の会講演会(大阪)
会場 国立民族学博物館 第5セミナー室
定員 96名(当日先着順、会員登録提示)

第387回 9月5日(日)
※今回は日曜日の開催ですのでご注意ください
19世紀アメリカのユートピア思想
講師 鈴木七美(先端人類科学研究部教授)
時間 ①14時～15時30分(13時30分開場)

「若草物語」は作者のオルコット自身の少女時代をもとにした半自伝的な小説です。彼女の家族はエマソンやソローといった超越主義者とも交流があり、当時としてもユニークな家庭、教育環境で育ちました。その背景にある19世紀アメリカで展開したユートピア思想、その理想的な生活についてお話しします。

第388回 10月2日(土)
特別展「彫刻家エル・アナツイのアフリカ」関連
美術に映るアフリカの位置
エル・アナツイのアフリカ
講師 川口幸也(文化資源研究センター准教授)
時間 ①14時～15時(13時30分開場)

美術品はふつと美術館に展示されます。ところがアフリカ美術の場合は必ずしもそうではありません。現代アフリカを代表する彫刻家として名高いナイジェリアのエル・アナツイの作品世界をたどりながら、アフリカが置かれていく位置を考えます。
※講演会終了後、特別展見学会があります。

お知らせ
9月4日(土)に国立民族学博物館内で開催されるイベント学会のため第387回「友の会」講演会は5日(日)の開催となります。「友の会」会員は4日のイベント学会の講演会およびシンポジウムに無料で参加することができます。詳しくは03・52115・1680(イベント学会)までお問い合わせください。

◆特別講演 13時
70年万博の遺伝子—イベントの進歩と調和
講師 橋爪伸也(イベント学会副会長)
◆シンポジウム 14時
EXPOの文化遺伝子—ミームは今?
出演者 吉田憲司、嘉門達夫、ヤノベケンジほか
会場 国立民族学博物館 講堂

国立民族学博物館
ミュージアム
ショップ

電話 06-6876-3112
FAX 06-6876-0875
水曜日定休

ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ
「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/
e-mail shop@senri-f.or.jp

現在開催中の企画展「伝統の布の『いま』—東南アジアのふだん着にみる実情—」(9月14日まで)にあわせて、ミュージアム・ショップでも東南アジアを中心に伝統的な布を集めたフェアを開催中です。

東南アジア諸国に現在も日常で使われる衣服としての布だけでなく、それらを用いたインテリアテキスタイルやシヨール、ブックカバー、巾着といった小物類も並び、「思わず足を止めてしまつ」、楽しい品揃えとなりました。また会期中は東南アジア以外の地域の布にも力を入れて用意しております。

なお、ミュージアム・ショップは本館1階の無料ゾーンにございますのでなたも自由にお入り頂けます。ご来店をお待ちいたしております。



左から
パティックサロン(インドネシア) 6,825円
シルクショール(ラオス) 40,950円
イカットテーブルクロス(インドネシア) 2,310円
スンバ島絞布(インドネシア) 18,900円